

『2025 反核燃秋の共同行動 in むつ』開催！

原発と核兵器は表裏一体・核に平和利用も軍事利用もない！

11月16日、下北文化会館で「2025 反核燃・秋の共同行動 in むつ」が30名余の参加で開催されました。中島寿樹集会実行委員長のあいさつ、栗橋同事務局長の基調提起に続き、木原省治氏（「原発はゴメンだヒロシマ市民の会」会長、広島県原水禁常任理事）による『ヒロシマから核のない世界を求めて』と題した講演が行われました。

講師の木原さんは、家族全員が爆心地から2.5kmで被爆した4年後に被爆2世として広島に生まれ、次姉は胎内被曝。39歳で急死した父の死に様と、32歳で被爆した母の生き様を見て育ったとのことでした。

1978年、国連軍縮特別総会出席の前に、米国各地の交流ツアーに参加。この時アメリカの人々が「原爆

の前での原発反対運動」として、8・6をヒロシマデー、8・9をナガサキデーとして行動していることを知り、原発反対運動と出会ったとのこと。原発建設計画を住民パワーでストップさせている山口県の上関原発反対運動に関わる中で本格的に『被爆地ヒロシマから脱原発』運動を取り組んでいるとのことでした。今までの秋の共同行動とは一味違う集会となりました。

集会アピールではこれ以上『むつ中間貯蔵施設の核燃サイクル政策の放棄と核燃サイクル政策の放棄』などを確認しました。また同時に開かれた「反核・産直市場」も好評を博しました。

まさに折から高市首相の非核3原則見直し論と相俟ってタイムリーな集会となりました。

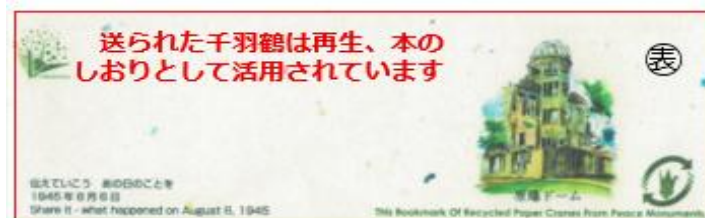


《ヒロシマと千羽鶴》

広島市の平和記念公園内ではいたる所で、色鮮やかな折り鶴が見受けられます。折り鶴は平和のシンボルと考えられ、多くの国々で平和を願って折られています。このように折り鶴が平和と結びつけて考えられるようになったのは、被爆から10年後に白血病で亡くなった少女、佐々木禎子さんが大きく関わっています。彼女は、2歳のときに被爆しましたが外傷もなく、その後元気に成長しました。しかし、9年後の小学校6年生の秋（1954年）に突然、病の兆しが現れ翌年2月に白血病と診断され広島赤十字病院に入院しました。

回復を願って包み紙などで鶴を折り続けましたが、8か月の闘病生活の後1955年10月25日に亡くなりました。

禎子さんの死をきっかけに、原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰め平和を築くための像をつくろうという運動が始まり、全国からの募金で平和記念公園内に「原爆の子の像」が完成しました。その後この話は世界に広がり、今も「原爆の子の像」には日本国内をはじめ世界各国から折り鶴が捧げられ、その数は年間約1千万羽、重さにして約10トンにもものぼります。



核のゴミから未来を守る青森県民の会 県に対し二度目のむつ中間貯蔵施設への搬入に抗議 すると共に全く利用価値のない使用済核燃料の再処理事業の見直しを強く求めました

去る8月6日付で「核のゴミから未来を守る青森県民の会」が青森県に対して事業者が7月に提示した、使用済み核燃料のむつ中間貯蔵施設への搬出入の中長期計画に対する問題点などを公開質問状の形で回答を求めています。この件について10月7日に回答がありましたが、何一つとして納得のいく

回答がありませんでした。

そこで同会では11月14日にあらためてこの回答を踏まえて再度、要請文を提出しながら、10月27、28日に行われた2度目のむつ中間貯蔵施設への使用済核燃料搭載カスクの搬入が行われたことに強く抗議しました。

11月14日に青森県へ提出した要請と抗議文（抜粋）

去る10月27、8日にむつ中間貯蔵施設に新潟県にある東京電力(株)柏崎刈羽原発から昨年9月以来2度目の使用済核燃料が搬入された。同燃料は、去る7月7日に東京電力(株)等が知事に報告した「中長期搬入・搬出計画」（以下、中長期計画）によれば、2064年頃から2074年11月までの間に六ヶ所再処理工場に搬出され、再処理されるとのことである。

しかし、東京電力(株)の原発は老朽化し、2064年以降の運転計画が存在しないため、プルトニウム利用が無いことから、再処理する必要はなく、六ヶ所再処理工場に搬出されずむつ中間貯蔵施設に長期貯蔵されるか、同工場に搬出されても同工場で長期貯蔵される可能性が極めて高いものである。使用済核燃料は再処理されなければ、高レベル放射性廃棄物として10万年余の間管理しなければならず、この度の搬入は下北半島に核のゴミを増やすことになる。

当県民の会は、これまでむつ中間貯蔵施設計画中止を訴えてきたが、先に示した核のゴミが増える等の不安と、問題点が何一つ解決されていない中でのこの度の搬入は、これからの青森県を担う次世代に負の遺産と長期間に渡り困難を押し付けることになるため、強く抗議し、下記により要請する。

- ① 中長期計画について、むつ市民、県民対象に国、事業者、知事出席の説明会の開催。
- ② 中長期計画で、むつ中間貯蔵施設から六ヶ所再

処理工場に2064年頃から2074年11月までに搬出とあるが、その時点で東京電力(株)及び日本原電(株)の原発運転計画が存在しないため、再処理の必要はなく、むつ中間貯蔵施設から搬出されない可能性が高いと考えるが、事業者の認識と県の見解を説明されたい。

- ③ 六ヶ所再処理工場は、建設着工して32年経過しても本格操業できない工場であり、同工場が2090年代初頭以降も安全に安定的に操業できないと考えるが、知事の見解を説明されたい。
- ④ 知事は10月7日付の公開質問状回答で「年々確実性を高め整合性が取れるように取り組むよう求めた」とあるが、知事が考える不確実性及び整合性が取れていない内容について説明されたい。
- ⑤ 「中長期計画を様々な変動要因、不確実性がある中、今後更に検討を重ねる」とあるが、変動要因及び不確実性の具体的内容を説明されたい。
- ⑥ 中長期計画に変動要因、不確実性があり、整合性が取れなくても知事は、むつ施設から50年以内に搬出されると考えているのか説明されたい。
- ⑦ 今回の搬入にあたり、事業者から事前連絡があった際に、県として50年以内に搬出され、六ヶ所再処理工場に再処理されるとの確約が得られていないため搬入を拒否すると伝えるべきだったと考えるが、拒否しなかった理由を説明されたい。

要請書を手渡す古村一雄
共同代表（右）11月14日、
青森県庁

むつ中間貯蔵
使用済み燃料
搬入に抗議
県内反核燃団体に
むつ市に立地する使用済
み核燃料中間貯蔵施設に2
度目の使用済み燃料の搬入
がされたのを受け、青森県
内の反核燃団体でつくる
「核のゴミから未来を守る
青森県民の会」は14日、県
に対して抗議し、施設から
求めたのは搬出想定先の
再処理工場の安定操業に関
する説明など7項目。同日、
古村一雄共同代表が県庁で
要請書を提出した。

古村共同代表は住民の安全確保についても言及。核物質防護の観点から接岸などに関する情報があったことに触れ、「(万が一の際の)避難計画もスムーズにいく」と事前周知を注文した。県の担当者は「核物質防護は、ひいては住民を守ることにつながる」と回答した。(佐々木祐紀)



←11/15 デーリー東北

むつ市議会第 266 回定例会が開会、12 名が一般質問で登壇

むつ市議会第 266 回定例会は 12 月 2 日から 19 日の予定で開催されています。一般質問は当初 4 日間、15 名の登壇が予定されていましたが、8 日深夜の地震を受け 3 日間に短縮されました。

杉浦議員は以下の 3 項目を質問しました

杉浦弘樹議員は①地域における公民館や図書館、体育館といった施設での Wi-Fi の設置状況と今後の整備計画について、②高齢者福祉施策充実の観点から加齢性難聴者の補聴器購入における支援策の現状と課題について、③物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金における市の考えについて、の 3 点を質問しました。

これらについて、市当局からは①公的施設の中では図書館、マエダアリーナ（市体育館）は全館で、中央公民館では一部 Wi-Fi 設置されている。その他公民館では特にニーズがなく未設置である。また小中校生が未設置個所で授業を行う場合は臨時 Wi-Fi 設置で対応しているとの回答～これに対して実際に様々な施設でのニーズも耳にしており、旧市内部以外にもキチンと設置することを強く要望、②では現在は身障者対応として一定の対応をしているが、現在、アンケート調査を開始しており、その結果を踏まえて来年度以降、加齢性難聴者についても検討していく手筈であるとの回答～これについて大きな前進と評価するとともに、可能であれば補助金額なども費用の半額程度を目安とす

ることを要望、③では国会議決前でも前倒しで検討することが国からも求められていることから本定例会でその方向を示す予定であるとの回答～これに対して過去に実施した「燃料券」の配布が好評だったとの声もあり、今回もぜひ、こうした対応をお願いしたい、こうした質疑が行われました。



◇高橋征志議員（無所属） 今後の財政運営見通しの認識は。



▷吉田由佳子財務部長 収支を左右するのは現在検討が進められているむつ総合病院新病棟の動向。市と下北医療センター双方が安定的な財政運営が可能になるようシミュレーションしていく。



◇杉浦弘樹議員（むつの風） 社会教育施設に Wi-Fi を設置する考えは。



▷阿部謙一教育長 図書館は全館で、中央公民館は展示ホールで利用可能だが、川内、大畑、脇野沢の公民館には設置していない。施策の中の一つとして検討課題に加えたい。



◇井田茂樹議員（自民ク） デジタル防災センターを特に配慮が必要な方々の優先的避難所にする考えは。



▷山本市長 専門的なスタッフによる医療などの提供体制整備を始め、一般の方の避難も想定されるなど、考慮すべき点があるので慎重に検討したい。



◇浅利竹二郎議員（自民ク） 補聴器購入に対する経済的支援の必要性をどう考える。



▷斉藤洋一健康福祉部長 経済的負担が大きいことは存じている。国や他自治体の支援策の調査研究を続けるとともに、まずは加齢性難聴に対する支援策の検討を進める。



◇村中浩明議員（陸奥未来） 重要文化財の常設展示場整備の見通しを示せ。



▷阿部教育長 二枚橋 2 遺跡出土品は他地域に類を見ない特徴があり、広く発信したい。一方、常設展示場の整備は相応の事業費が見込まれるため、引き続き調査研究する。



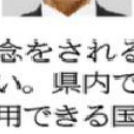
◇櫻田秀夫議員（公明・自由） 在宅高齢者向けの緊急通報システムの現状は。



▷高橋嘉美健康づくり推進監 緊急時の迅速な対応のため、持病などを持つ 65 歳以上の独り暮らしの方など向けに設置している。25 年 10 月末時点で 70 件の利用登録がある。



◇佐藤広政議員（市誠ク） 「学びの多様化学校」の開設の財政的裏付けはあるのか。



▷山本市長 税金投入の懸念をされると少人数学校は運営できない。県内で最初の取り組みだからこそ活用できる国の補助金を獲得して行う。



◇佐藤武議員（無所属） 教職員の勤務実態を示せ。



▷阿部謙一教育長 時間外・在登校時間は、小学校が 22 年度 37.4 時間、23 年度 37.3 時間、24 年度 35.4 時間。中学校は 22 年度 73.6 時間、23 年度 58.1 時間、24 年度 46.7 時間となっている。



◇佐々木隆徳議員（陸奥未来） 観光遊覧船「夢の平成号」の今後は。



▷山崎学商工観光部長 売却を念頭に検討している。船体は修繕を重ねているが、エンジンは 21 年度に改修しているため一定の需要が見込まれる。本年度内にめどを付けたい。



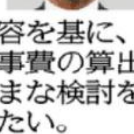
◇富岡直哉議員（陸奥未来） 国スポ・障スポのリハーサル大会で出た課題はあるか。



▷石橋秀治市民生活部長 ローイング競技の一般観覧者用駐車場が 8 割以上埋まり、本大会では対応できない。セーリング競技のために整備した駐車場の活用を検討している。



◇佐賀英生議員（市誠ク） 道の駅整備の現状と今後の対応は。



▷山本市長 現在調査を進めている。今後提出される報告内容を基に、建築候補地の地質把握や概算工事費の算出、事業スケジュールなどさまざまな検討を進め、整備実施の是非を決定したい。



◇工藤祥子議員（無所属） 養殖ホタテの高水温被害の状況は。



▷一戸義則農林水産部長 秋季調査の速報値で 3 漁協のへい死率は、2 年貝はむつ 99.7%、川内 90.7%、脇野沢 80.6%。稚貝はむつ 99.9%、川内 48.1%、脇野沢 93.3%となっている。

一般質問は当初十五名が予定していましたが三名が辞退しました



一般質問中の杉浦弘樹議員

東北電力・東通原発で試験や点検で7年間も意図的な不正が発覚！

原子力規制委員会は11月20日、東北電力東通原子力発電所で、外部から敷地内への侵入を防ぐ監視装置の性能試験と保守点検について、意図的な不正が行われていたと発表しました。

新聞報道によれば、原子力規制委員会が東通原子力発電所で一部試験の未実施や別記録数値の流用など故意による不正行為が2018年から7年間にわたって行われていたと発表、東北電力に対し、改善を図るよう求めたと報じられました。

今回の不祥事は、その影響などを図る深刻度は、4区分のうち下から2番目の「3」（一定の影響を有する事態）と判断しました。

原子力規制庁によると、今年6月に規制庁の担当者が検査を行った際、昨年度の性能試験記録が全て同じ日付だったことに違和感を覚え、不正が発覚したとのことです。具体的には外部からの侵入を検知

するセンサーなどの性能試験や、警報表示を点検する際、一部の試験や確認しか行っていなかったにもかかわらず、規定で求められている一通りの手続きを済ませたように記録したり、データを流用して不正な検査記録を作成したりしていたとのことです。

これは歴代の担当者の故意によるものであるほか、東北電力の管理者が適正な業務を行っていたら回避することができたと指摘しました。

この事案について、さすがに宮下知事も12月2日の定例会見で「ずさん通り越して悪質、それに尽きる」と厳しく指摘し、再発防止や地元、周辺自治体への丁寧な説明を求めました。

また、同社の謝罪についても「完全に虚偽の報告をしていたわけだから、こんなことは許されない」と批判。再稼働については「今は論じるレベルにない」としました。

青森県は厳しい対応を 東通原発記録不正巡り社民県連



青森県の厳しい対応などを求める
今村修代表（中央）＝27日、県庁

東北電力東通原発（東通村）で外部侵入防止装置の性能試験などで記録の不正があった問題を巡り、社民党青森県連（今村修代表）と県平和推進労働組合会議（阿部一久議長）は27日、県に対し、事業者に対して厳しく対応するよう求めた。申し入れでは、今後の県

の監視体制や、不正が始まったとされる2018年度以前の実態を明らかにするよう求めたほか、原子力業界の協力会社任せの体質が不正につながったと指摘。原子力発電の中止も訴えた。

この日は県庁で県原子力安全対策課の奥野直子課長代理に申し入れ書を提出。今村代表は「不正はもっと長い間行われていたのではないかと疑問を呈し、阿部議長が「厳正に対応してほしい」と求めた。

この日は東北電青森支店、原子力規制庁の青森事務所にも同様の申し入れを行った。（岩淵修平）

東北電力/東通原発不正行為の概要

- 2018～24年度、検知センサーなど侵入監視装置能を未実施にもかかわらず、実施したことにして栄空の記を作成
- 協力企業が年1回実施する点検結果を流用
- 他の点検と内容が重なるため、試験を省略してもいい、と担当者が考えたのが発端
- 担当者は入れ替わったが、申し送りに誰も疑問を持たないまま不正が引き継がれた
- 管理職は担当者任せで、不正を見抜けず（東奥日報紙より）



管理職7年間 現場確認せず

東北電力東通原発（東通村）での監視装置試験記録を巡る不正で、担当社員が手がける性能試験について、不正があった2018年度以降の約7年間、管理職が一度も現場で試験を直接確認していなかったことが21日、東北電への取材で分かった。管理職は、やっているものだという思い込みがあった旨を話しているという。

センサーやカメラなど監視装置の性能試験は動作確認だけでなく、複数の侵入パターンを想定した複雑な検知が可能な検証する。原子力規制庁によると、担当社員は年によって1、2人程度。東通原発の小笠原和徳所長は性能試験について「数カ月かけて実施する作業量がある」と説明する。

東北電によると不正があった時期の管理職、担当社員は合わせて約20人。管理職は18～24年度、協力企業による点検は現場で観察したが、担当社員が実施する性能試験は一度も現場を訪れて確認しなかったという。チェック機能が働かず、長期にわたって不正を見抜けなかった。

規制庁は、核物質防護管理職らが適正に業務管理していれば不正を回避できたと指摘。東北電は担当社員任せの再発防止策として、管理職が現場で確認する運用に改善した。石山一弘社長は「担当者の責任のみならず、管理職の確認不足も大きな要因」と述べた。（佐々木大輔、畑山佳奈子）

老朽化病棟を 8 日の地震が直撃、建て替え問題が、喫緊の課題となりました

むつ市長が新築の方向を示しました

8 日深夜の地震はむつ市内の各所で被害をもたらしていますがご承知の通り、むつ総合病院も甚大な被害がありました。

新築か既存病棟の耐震・長寿命化を検討しているむつ総合病院の一般病棟整備を巡り、折から地震のひと月ほど前の 11 月 15 日に山本むつ市長は改修には多額の費用がかかるとして、新築する方向で検討を進めていることが報じられていました。

これは市内で開いた市政報告会で行った、官下県知事とのトークセッションで明らかにしたものです。

白紙とした従来の新築病棟の整備費約 415 億円より価格を抑えながらも、個室を増やしたり、立体駐車場を設置したりするなど、金額を抑えた中でも中身の充実を図る内容を精査中として年内にもあらたな整備方針を示す考えとのことです。

むつ総合病院の入院患者を、海上自衛隊の診療所へ搬送する隊員ら



むつ総合病院 水浸しに

スプリングラ― 36 人、他施設に移送
破損で 5〜7 階

8 日夜に発生した地震の影響で、むつ総合病院では 7 階のスプリングラ―が破損し、5〜7 階が水浸しとなった。同フロアに入院中だった 133 人を病室から移動させ、36 人を他の医療機関など 15 施設に移送したほか、残る 97 人は退院が病棟を変更する措置を取った。地震から一夜明けた 9 日は休診だった外来診療は、一部制限があるものの 10 日から再開する。

むつ市によると、スプリングラ―が壊れて漏水が発生し、階下にも流れ出た。病院職員らが入院患者を外来

の待合室などに移動させ、災害派遣医療チーム（DMAT）などの支援を受けながら、転院などの措置を講じた。患者移送に当たっては、青森県が海上自衛隊に災害派遣を要請。同市の海自大湊診療所にも患者を転院させた。



取り外された「核燃は白紙撤回」と書かれた看板

種市さん 11/16 デーリー東北

反核燃の看板取り外し

六ヶ所・泊地区 運動の象徴、姿消す

種市さん 1 周年忌、自宅から

種市さんが所属していた「核燃から漁場を守る会」が設立されたのは 1985 年。看板はその後に設置されたといわれる。

この日は、泊地区の別の場所に住む種市さんの長女・中村淳子さん（62）が、道路沿いに掲げられていた大きな 1・8 四方の看板を家族と共に取り外して車庫に収めた。

種市さんは昨年 11 月に亡くなった。「1 周年忌を終えたら外そうと、きょうだいで話をしていた」と中村さん

種市さんが所属していた。中村さんの夫・健さん（68）は「反対のために人生をささげた人だった」と義父に思いをはせた。

種市さんと長く親交のあった、核燃サイクル阻止 1 万人訴訟原告団運営委員の伊藤和子さん（73）は「三沢市には取材に『反対した人がいた泊地区に看板があることに意義があった』と強調。村内から反対を訴える看板は消えており、伊藤さんは『これが最後だ』と思う」とつぶやいた。

六ヶ所村泊地区で反核燃を訴え続けた故種市信雄さん（享年 89）の自宅に掲げられていた「核燃は白紙撤回」と書かれた看板が 15 日、種市さんの家族によって取り外された。核燃料サイクル施設受け入れを巡る反対運動の象徴が、また一つ村内から姿を消した。（齋藤桂）

残念なニュースですが...

反核燃の信念の人、六ヶ所村泊地区の種市信雄さん亡くなられてちょうど一年、闘いの象徴の看板が自宅から取り外されました。

種市さんは「むつ小川原開発」「核燃料サイクル」の反対運動を長きにわたり続けていました。

中学生の頃から漁船に乗り、郵便局退職後はコンブ漁などをしながら運動を続けました。

種市さんのもとには県内はもとより、全国からたくさんの人たちが訪ねてきましたがいつも優しく笑顔で迎え入れていました。

永年、六ヶ所村長選挙では自宅を反核燃候補の選挙事務所として提供していました。



在りし日の種市さん

改憲派・高市首相、維新の会との連立でより一層前のめり！

どちらも自衛隊ではなく「国防軍」と明記することに強い信念が感じられます

従来より憲法改正を唱えてきた高市氏が首相に就任し、新たに連立を組んだ日本維新の会と憲法改正論議の加速で合意しました。

自維連立合意では、維新案をふまえた9条改正と緊急事態条項創設を目指すとしています。9条の維新案は「戦力不保持」の2項を削り、自衛隊に代わる「国防軍」を明記するというもの。高市氏は21年の保守系月刊誌Hanadaでは『自衛隊ではなく、やはり国防軍と明記したい』と語っています。



ケンボウさん
日本国憲法が公布された
1946年11月3日生まれ



主な歴代自民党総裁の「保守」をめぐる発言や政治姿勢

党内ハト派の派閥の系譜

石橋湛山
1956.12.14~1957.3.21

ご機嫌取りをせずに、内においても外に対しても所信どおりに進んでまいる

池田勇人
1960.7.14~1964.12.1

われわれ保守党内閣になって、自由主義経済のもとに今日の発展を見た

佐藤栄作
1964.12.1~1972.7.5

日本国民は二度と軍国主義化しない日本をつくる

田中角栄
1972.7.5~1974.12.4

政治家は具体的な目標を明らかにし、政策実現に全力を傾けるべきだ

大平正芳
1978.12.1~1980.6.12

辛抱強い説得と理解、信頼と協力によってより広い合意を形成する

宮沢喜一
1991.10.31~1993.7.30

軍事大国になることなく平和と存立を維持し、美しい国を築きあげたなら、壮大な実験の成功といえる

橋本龍太郎
1995.10.1~1998.7.24

保守とは現状維持ではない。伝統の上に創造、秩序の中に進歩が原点だ

安倍晋三
2006.10.1~2007.9.23
2012.10.1~2020.9.14

保守とは、生まれ育った国に自信を持ち、長い歴史をその時代に生きた人の視点で見つめ直そうとする姿勢だ

岸田文雄
2021.10.1~2024.9.30

保守本流の政治の要諦は、真摯に耳を傾け、最善かつ現実的な解決策を模索することだ

石破茂
2024.10.1~2025.10.4

保守の本質は寛容だ

党内タカ派の派閥の系譜



鳩山一郎
1956.4.5~1956.12.14

真の自主独立のため、占領中の法令や制度を国情に即して改める必要がある



岸信介
1957.3.21~1960.7.14

保守は単に反動的、盲目的、復古的な考えではない。常に進歩的な保守政党でなければならない



福田赳夫
1976.12.23~1978.12.1

私は保守本流というような、けちな狭い根性は持っていない。日本本流である



中曽根康弘
1982.11.25~1987.10.31

政治家の大きな仕事は現状維持ではない。むしろ改革である



小泉純一郎
2001.4.24~2006.9.30

もし、よその国が侵略するならば、日本人は戦って抵抗するという決意を示すのが自衛隊である



安倍晋三
2006.10.1~2007.9.23
2012.10.1~2020.9.14

保守とは、生まれ育った国に自信を持ち、長い歴史をその時代に生きた人の視点で見つめ直そうとする姿勢だ



高市早苗
2025.10.4~

日本を再び世界の高みに押し上げていく

派閥の流れ

池田派

大平派

宮沢派

岸田派

石破派

派閥の流れ

岸田派

中曽根派

福田派

森派

安倍派

憲法改正に関する日本維新の会の考え方

【9条2項の削除】

この部分の削除…前項の目的を連するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない

【主な追加項目】

「国防軍」を保持し、内閣総理大臣を最高指揮官とすることを明記

「時代に適さぬものを改め、維持すべきものを護り、秩序のなかに進歩を求める」

今回はかつて「ウィークしもきた」に連載された郷土史家の鳴海健太郎氏の『下北史点描』から佐井村に関わる題をお届けします。いずれもロシアを中心とした海外との関りを伝えるものです

【①佐井村の意外史話】

佐井の歴史を調べていたら意外な事柄が浮かび上がった。佐井湊の二代目竹内徳兵衛は多賀丸（1200 石積・水主 16、7 人）の沖船頭であった。徳兵衛は商家伊勢屋の養子として入籍した。延享元年（1744）11 月難船している。大畑で記した「原始謾筆風土年表」の延享元年の条に大畑湊から「大豆・昆布・鰯糟を積み入れ出帆」と見えている。

それが翌年カムチャツカ半島近くのオンネコタン島に漂着したというのである。船中で死亡者を出したが 10 名の生存者はロシアの地で暮らすこと 2 年に及んだ。それからシベリアのヤクーツク果てはペテルブルグに踏み留まった。水主のなかには洗礼を受け帰化する者があり、その二世は日本語学校の教師にもなった宝暦 3 年（1753）学校がイルクーツク移転に伴い二世らも共に転任した（村山七郎「漂流民の言語」）。

ロシアのサンクトペテルブルグはかつての古都である。私は 20 数年前に妻と旅行した。ここにはクンストカーメラ（美術品陳列館）があった。ガイドが休館と教えてくれた。残念至極だが川沿いを歩く。日露戦争時の艦船が繋留されていた記憶が甦ってきた。

帰国してからクンストカーメラに佐井漂流民の衣類が保存されていることが分かった。

元順天堂大学の村山七郎教授の情報である。教授は時のロシアの爲政者が日本語学校通訳の養成に尽力した事実を知り、現地調査をしていた。その時、佐井湊漂流民の二世が「欽定露日辞典」の著者であることが分かった。次いでに漂流民の衣類調査もしていた。

学術員が収蔵庫にある一着の衣類を持参し村山教授に見せたという。これが佐井漂流民の労働着「マキシ

デ」であった。教授は佐井村も訪ね渡辺村長・奥本教育長の教示を受けていた。

マキシデは木綿製のものだ。そして背面には九曜紋が付されている。「先年江戸中期に大槻玄沢の著したものに「環海異聞」がある。これは漂流史料の代表作といわれている。この中に南部佐井の多賀丸漂流事件が登載されていた。「環海異聞」巻之十の条に「日本人の服もあり（中略）故郷にて貧民農夫などの着用する上ツ張りとして刺し綴りたる古着なり。（江戸にて刺子と云）此方の紋あり（中略）思ふに是むかし南部・津軽浜辺の者など漂流せし者どもの着用せるを異方の者なりとて珍敷（めずらしく）思ひ召上て此所に納め置し事と見ゆるなり」玄沢が「マキシデ」は南部・津軽の浜辺の仕事着と推定しているのである。玄沢はロシア国に 8 カ年もの滞留した時の見聞



マキシデ

録が「環海異聞」だ。玄沢は江戸中期の医者であり蘭学者。しかも盛岡藩（今の岩手県）の一ノ関出身である。佐井の歴史には意外な事実がまだゴロゴロしていると私には思えない。

【②佐井の漂流民意外史】

東京の国立公文書館・内閣文庫に寛政 8 年と書かれた「魯西亜（ロシア）文字集」がある。これは極めて珍しい佐井漂流民の史料だ。近年江戸時代の「鎖国見直し論」が歴史学界で高まっている。

「ロシア文字集」（吉川弘文館・

昭和 42

刊）を

みると

「先年

漂流ノ

南部サ

イ（佐

井）ノ

三之助

ガ倅」と

ある。ロシア名はアンドレ

イ・タターリノフ。日本名はサンパ

チ、シベリアのイルクーツクに居た、

佐井の漂流民を最初にロシア、ヨー

ロッパに伝えた人はドイツのゲオル

ギである。彼は「1772 ロシア旅行

誌」を 1775 年（宝暦 5 年）に発表。

この中で佐井の漂流民を紹介し「佐

井地名」がロシアをはじめヨーロッ

パに知れ渡ったのである。ところが

日本側の史料には佐井の漂流民のこ

とは全く現われなかったのである。

調べていくと佐井の漂流民以後に

伊勢（三重県）の漂流民大黒屋光太

夫がイルクーツクで「三之助」の名

を知っていた（大黒屋光太夫「北槎

聞略」所収）というのは、彼の子ア

ンドレイ・タターリノフとイルクーツ

クで会っていたから。イルクーツ

クには三之助から日本語学校で学ん

だ 3 人の通訳がいた。①トゥゴルコ

フ②トラペズニコフ③タターリノフ

である。

三番目のタターリノフが 1782 年

（天明 2）10 月、イルクーツク知

事クリアからペテルブルグの科学

アカデミーの会議に提出された「露

日語彙集」（レクシコン）の著者そ

の人である。このレクシコンの表題

の下の部分に「にほん人の／さのす

けの／むすこさんばち／ござります

と、たどたどしい平仮名で書き記し

ている（村山七郎「漂流民の言

語」）。1765 年（明和 2）にイワ

ン・タターリノフ（三之助）が息子



ロシア文字集

アンドレイ（当時 13 歳）に、ロシア文字の読み書きを習得させたことがイルクーツク知事へ提出した嘆願書に見えている。この嘆願書がロシアのモスクワ・中央国立古文書館に所蔵されているという。これによれば A・タターリノフは 1752 年（宝暦 2）の生まれである。

さてイルクーツクの日本語学校の間ではアカデミーへ提出される以前先のレクシコンが何部か作られていた。それを日本語学校の生徒の間でテキストとして使用していたというその一部が著者タターリノフの学友トウゴルコフの手に入り、彼が寛政四年（1792）9 月、ロシアのラックスマン使節団としてエカテリーナ 2 世号に乗船・根室で通商交渉の際レクシコンを持参といわれている。日本のロシア語と関わる歴史は古くよくロシアの日本語学校で、日本語を学んだといわれるが、実は「佐井の方言」だった。

「レクシコン」の日本語方言学・方言史の研究は下北地域史の大きな課題である。

【③長福寺の仏舍利塔】

佐井の歴史探訪時、私は何回となく長福寺の墓地に足を運んだ。特に竹内徳兵衛（二代）の墓を探し拝ませて貰った。

江戸時代－伊勢屋こと竹内家の墓は十五基も建ち並んでいたと北海道士幌町に在住する子孫津田ゆふ子氏から聞いたことがある。

延享元年（1744）の初冬、伊勢屋の多賀丸が北千島のオネコタン島に漂着したことが日露交流史上にとって一大事件であった。

佐井の歴史は重厚である。長福寺境内に仏舍利塔が安置されている。

“仏舍利”というのは遺骨のことである。北海道厚岸町の国泰寺に仏舍利塔が安置され天保 12 年（1841）の建塔である。建塔の際の良きパートナーが長福寺の俊道和尚だった。

そのとりもつ縁は、代々の国泰寺の住職が江戸から一カ月ほどの長旅の末、佐井湊に到着、ここで風待ちして箱館へ渡海した。

すでに記したが天保 12 年－国泰寺七世の弁済和尚が仏舍利塔建立に尽力したのである。その理由は鎌倉円覚寺の秘仏である仏舎利の分身を拝請、これを奉持して東蝦夷地（東北海道）の鎮護にしようと発願することによる。

国泰寺の弁済和尚が一顆（つぶ）の仏舎利を長福寺に残し、臨済・曹洞二宗の盟となり、永世－長福寺の鎮めとなしたという。この時長福寺の俊道和尚に仏舎利を付与し厚岸に向ったのが弁済和尚だった。それが再び佐井湊へは帰って来なかった。帰って来たのは弁済の弟子の啓厳和尚に抱かれた小さな骨壺であった。

長福寺の仏舍利塔には寄進者の氏

名が刻まれている。

国泰寺には北辺守護と外夷退散の祈願寺として建立された。

天明・寛政年間（1781～1800）に北方ロシアとの境界紛争がおこり外敵防禦とアイヌの綏撫（すいぶ＝アイヌ民族を懐柔し、日本の支配体制に組み込むの意）のために建立されたのが国泰寺であった。

厚岸の国泰寺は臨済宗南禅寺派に属し江戸時代の官寺と指定された。

佐井は長福寺の仏舎利と結ぶ縁があり、かかる意味で長福寺が真永 2 年（1849）仏舍利塔を見事に建立した。

ちなみに佐井湊は北方警備が喧騒となっか時の重要な湊であった。一例を挙げれば盛岡藩士大村治五平が著わした史料「私残記」がある。文化 4 年（1807）4 月末から 5 月にかけてロシア船に上るエトロフ島襲撃事件があった。

以後、蝦夷地へ渡海する湊が佐井であった。佐井には東北諸藩の藻兵の往来が頻繁であった。

置き去りにされた“長福寺の仏舍利塔”は佐井の歴史再興のためにきちんと記録を残さねばならない。



【編集後記】8 日深夜の地震はかなり怖かった。介護者を持つ身にとってあらためて悩ましい。余震が怖くて結局、介護者と居間で一夜を過ごした。しかし、考えてみれば地震や津波が想定される通り発生しただけなのである。これ以上強い揺れが来るのかどうか定かでないが、後発性地震注意報なるものが出される地域なのだ。こんな地に中間貯蔵、原発、ひいては核燃料サイクル施設が立地して、その都度、テレビ・ラジオはそれぞれが異常はなかったと報道する。しかし、その後で再処理工場では放射性物質が含まれ水が 100 リットル漏れたと報じられる。どうしてこんな地が原子力施設の適地なのか。本当にこの国の為政者は一度の被災では懲りない輩なのだ。ヒロシマ、ナガサキ一度では懲りなかった面々なのだ。クワバラ・クワバラ(栗)